

輝くひとにインタビュー

in 中央区

地域で顔の見える、防火・防災活動を支える

京橋防火女性の会

会長 古澤悦子さんに聞く



今年で21年になります

京橋防火女性の会は、平成元年に、家庭や地域における防火防災の意識づくりや防災行動力の向上を図り、安全なまちづくりを進めることを目的に、京橋消防少年団の母親の有志が集まって結成、発足しました。今年で21年になり、会員数は63名です。

防火女性の会の活動のペースは月に1回程度ですが、皆さん、仕事や家庭生活と両立しながら参加しています。

中央区総合防災訓練では、被災者の誘導や防災拠点における救助資器材の取扱い訓練を行います。銀座震災訓練な



桜橋第二ポンプ所見学会での広報活動

どの地域行事にも参加しています。また、救命講習では応急救護の技術を身につけますが、会員の半数近くが資格を持つなど、防火防災の知識や技術の向上にも取り組んでいます。

地域で顔の見える救援活動を支えます

広報活動では、住宅用火災警報器の設置促進において、消防署の方たちと一緒に活動しました。同じまちに暮らす私たちが訪問することで、高齢者の方々には安心してお話を聞いていただくことができました。

会員は、近所に火事があれば援助に行きます。地域の人の顔がわかるので、消防署員に高齢者がいる住宅を伝えることもできます。実際に、燃えている家の中に戻ろうとした高齢者を引き止めた経験もあります。

活動のひとつに、「近隣における高齢者等災害時要援護者の安全確保の援助」があります。高齢社会を迎え、地域で顔の見える救援活動のお手伝いをするには、ますます重要な役割になると思います。

会員の輪を広げることが課題です

活動をしていて感じることは、地域のつながりが希薄になってきていることです。新しく転居してきた方々の顔を知り、新しい住民同士が知り合う機会も少なくなっています。そうした時世の中で、若い人たちの入会が少ないのが課題です。地域と連携しながら安全なまちづくりを進めるために、会員の輪を広げていきたいと思っています。



視察研修会に参加する会員

「中央区男女共同参画推進委員会委員」が決まりました。

平成22年6月1日から2年間の任期で、17名の方々が中央区男女共同参画推進委員会委員に就任されました。

委員会は、学識経験者、女性団体・各種団体からの代表者、公募区民、行政職員で構成されています。任期中、区の男女共同参画推進策について、随時ご意見をいただきます。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 佐藤 洋子 (会長) ジャーナリスト | 河本 佳子 中央区女性ネットワーク会長 |
| 竹信三恵子 (副会長) 朝日新聞編集委員 兼論説委員 | 服部 善幸 中央区青少年委員会委員 |
| 細谷 実 関東学院大学教授 | 縫田 中 月島地域民生・児童委員協議会副会長 |
| 大北 恭子 中央区婦人学級連絡会副会長 | 篠原 良子 中央区社会福祉協議会ポラニア |
| 青木真知子 中央母の会副会長 | 五十嵐義幸 連合東京中央地区協議会事務局長 |
| 神谷 聖子 中央区女性海外研修者の会 前会長 | 山野 壽子 東京商工会議所中央支部副会長 |
| 伊藤嘉奈子 公募区民 | 岩淵 美香 公募区民 |
| 府川 晃久 公募区民 | 富田貴志子 明正小学校校長 |
| 福寿 陽子 東京都労働相談情報センター所長 | |
- (順不同 敬称略)

「ブーケ祭り」を開催しました。



ブーケ祭り実行委員のみなさん。

「職場で、地域で、家庭で、働く女性たちへの応援歌」を合言葉に、男女共同参画週間（6月23日～29日）にあわせて開催される「ブーケ祭り」。今年は、「共に輝き、未来へつなげ」をテーマに、6月25日、26日に開催し、会場となった「ブーケ21」は、おとなから子どもまで多くの人で賑わい、活気にあふれました。今年の参加団体は33団体。「ブーケ21」を活動拠点とする団体が、展示やワークショップ、パフォーマンスと日頃の活動成果を発表し、来場者との交流を深めました。またブーケ祭り実行委員会では、参加型アンケート「あなたが今、熱中していることはなんですか？」を行い、「熱中の花束」を作りました。



子ども版「熱中の花束」。
1位は「ゲーム」でした。



粋な盆踊りで会場を湧かせました。（音和会）

事業スタッフ レポート

「あなたが今、熱中していること」

今年の参加型アンケートのテーマは「あなたが今一番熱中していること」。家事、子育て、介護、健康、ボランティア・地域活動、仕事・勉強、恋愛、趣味の8つの選択肢の中から、来場者に1つだけ選んでもらいました。一番人気は健康と趣味。二番人気は仕事・勉強、ボランティア・地域活動、三番人気は恋愛と子育て、数が少なかったのは家事と介護でした。この結果から、ブーケ祭りを訪れた皆さんは、元気に楽しく自己研鑽に励みながら、毎日ポジティブに暮らしているのがわかります。恋愛を選んだ人が意外に少なかったのは、願望ではなく現状を答えるというアンケートの趣旨からでしょうか。家事を選んだ人は16人と少数でしたが、そのうち6人は男性。さすが、ブーケ来場者のご家庭は男女参画が進んでいます。

事業スタッフ 脇坂文栄

展示コーナー

エガリテ
エコ・ビーイング
カトリアグループ
かな書道を親しむ会
銀座育成婦人会
くまちゅ〜クラフト（26日のみ）
傾聴ボランティアグループうさぎの会
曙光会
新日本婦人の会中央支部 女性の地位向上委員会
中央区環境保全ネットワーク
中央区社会福祉協議会「ファミリーサポートセンター」
中央区消費者友の会
中央区女性海外研修者の会
中央区女性史勉強会
中央区女性ネットワーク
中央区つつじ会
中央区婦人学級連絡会
(社)東京建築士会 女性委員会
東京都下水道局桜橋第二ポンプ所
日本橋モラロジー事務所
人形教室みやび会
ブーケ祭り実行委員会
中央区防災課
中央区危機管理課
中央区女性センター

パフォーマンスコーナー

25日 開催	音和会
	かっぽれ踊る会
	実行委員会企画
26日 開催	茶友倶楽部 えん
	わすれな草
	吟友会
	朗読ボランティアグループ わかはや会
	アマービレ
	エーデルワイスの会
	朗読の会 レイ・ロケラニ

体と心の癒しのコーナー

オスビーの会
日本助産師会東京都支部中央区分会（25日のみ）
中央区社会福祉協議会「さわやかワーク中央」





第9回 中央区「ブー



エガリテ

事業スタッフ レポート

「共に輝き、 未来へつなげている瞬間」

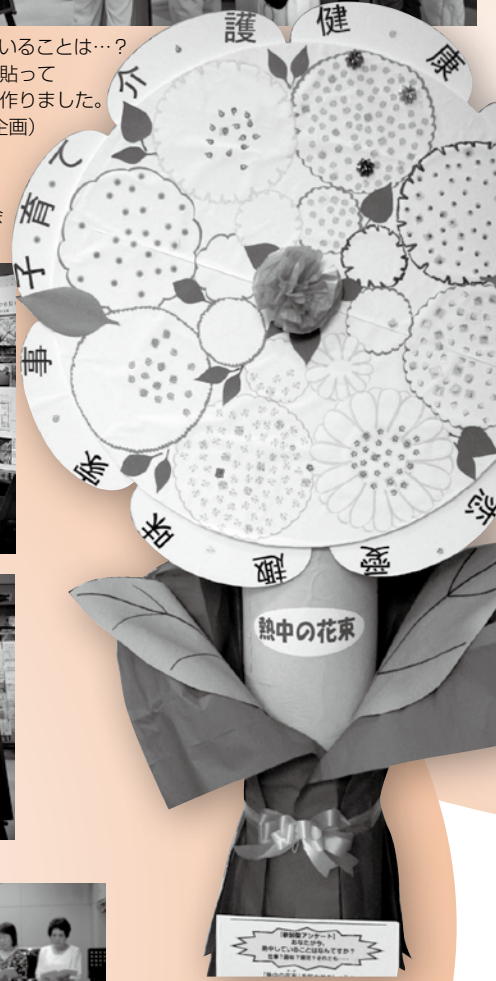
梅雨どきの蒸し暑さにもかかわらずたくさんの方々に参加され、場内も熱気でムンムンです。男女共同参画を研究するグループ「エガリテ」では、夫婦の呼び方の調査結果を報告していました。東京23区内の調査ですが、20代、30代では名前や愛称で呼び合う夫婦がかなりの率を占めていました。50代以降になると、お母さん、お父さんが多くなりますが、実際にはそれを望んではいないということでした。ちなみに中央区は他区に比べると名前で呼び合う率が高いようです。いくつになっても名前で呼ぶのが一番ですね。

「(社)東京建築士会女性委員会」では、まちをつくる建築と題し、時代を越えて大切に使われている建物がまちの景観を豊かにしている様子を展示していました。震災復興小学校のひとつでアーチ型の門扉窓のある明石小学校を設計された建築士を義父にもつ女性が立ち寄られ、熱く語っておられたのがとても印象的でした。共に輝き、まさに未来へつなげている瞬間でした。梅雨空もしばし、涙を忘れ聞き入っていたようです。 事業スタッフ 村田進益



今、熱中していることは...?
花のシールを貼って
熱中の花束を作りました。
(実行委員会企画)

(社)東京建築士会
女性委員会



傾聴ボランティアについて紹介
しました。(傾聴ボランティア
グループうさぎの会)



1年間の活動を紹介します。(中央区女性ネットワーク)



折紙で楊枝入れづくり体験。上手にできたかな?
(婦人学級連絡会)



息を合わせてみんなで朗読。(朗読の会)



環境にやさしい消しゴム作り。
(環境保全ネットワーク)



かわいい手作りの小物がいっぱい。
(くまちゅ〜クラフト)



こころのこもったハンド
マッサージに癒されまし
た。(日本助産師会)

メタバ解消?魚の隠れ
た栄養パワーを紹介し
ました。(消費者友の会)

研修

男女共同参画
次世代リーダーのための
日帰り研修参加者募集

地域における男女共同参画を推進するためのリーダー育成を目的に、女性団体の横断組織である中央区女性ネットワークとの共催で研修を実施します。是非ご参加ください。

- 日時 10月20日(水)
- 午前8時区役所前出発
午後6時区役所前到着予定
- 対象 区内在住・在勤・在学者で地域団体に活動している方または今後活動したい方
- 訪問先および内容
栃木県小山市男女共同参画施設と女性団体との交流
結城つむぎと渡良瀬遊水地の見学
- 定員 40名(先着順)
- 交通機関 大型観光バス
- 費用 無料。ただし、昼食代等実費相当分(二千元程度)をご負担いただきます。
- 事前研修
- 日時 10月7日(木) 午後6時30分
- 事後研修
- 日時 11月4日(木) 午後6時30分
- 会場(事前事後共通) 女性センターブーケ21
- 申込方法
- 10月1日(金)(必着)までにはがきファクスに①⑤(記入例参照)を記入して申込む(電子申請も可)。
- ※詳細はお問合せください。
- 主催 中央区女性ネットワーク・中央区

募集

ワークライフ・バランス
推進企業募集

対象 区内に主たる事務所を置き、常時雇用する従業員の数が三百人以上の企業、社団法人、財団法人等

- 募集期間 10月1日(金)から1月14日(金)まで(必着)
 - 認定時期 平成23年2月予定
 - 申請方法等
所定の申請書で申込む。所定の書類は区ホームページでダウンロードしていただくほか、電話でも請求できます(認定基準・内容等詳しくはお問合せください)。
 - ※アドバイザー派遣(無料)についても募集中です。
- 講演会
- 「ワークライフ・バランスの視点で考える〜日本でいちばん大切にしたい会社」
- 日時 10月28日(木)
午前10時から正午まで
 - 会場 区役所8階大会議室
 - 講師 法政大学大学院政策創造研究科教授 坂本光司氏
 - 費用 無料
 - 定員 120名(先着順)
 - 託児 1歳以上の未就学児をお預かりします(定員あり)。
 - 申込方法
電話またはファクスに①⑤(記入例参照)、⑥託児希望の方は、お子さんの氏名・ふりがな・年齢を記入して申込む(電子申請も可)。

講座

女性のチャレンジ支援
「めざせ再就職!」
『私』を生きるための力アップ講座

女性のための再就労支援講座
日時内容等 左表のとおり
対象 結婚、出産・子育てや介護等のため離職した方で、再就職を希望する女性

日時	会場	講座名	内容
10月6日(水) 13日(水)	女性センターブーケ21 午前10時〜正午	「知ることから始めよう」再就職の心構えと準備 ※	働くための自己理解、自分ならではの強みを見つける ・資格も含めた最近の仕事事情と就職活動の基本的理解など
10月12日(火)		働くうえで知っておきたい社会保険の基礎知識	・扶養内で働くメリット・デメリット ・短時間労働における社会保険の適用など
10月18日(月) 25日(月)		成功するための再就職活動の基本 ※	・労働市場の理解、求人案件の探し方 ・応募書類の基本理解と志望動機・自己PRの書き方
10月22日(金)		企業担当者に聞く「企業が求める人材像」	・企業の採用担当者を招いてのパネルディスカッション ・「人事担当者が面接で見るポイント・企業が望む人材像」
10月29日(金)		面接対策に必要なビジネスマナーとコミュニケーション ※	・第一印象アップのためのコミュニケーション理解 ・面接で好印象を与える自己表現方法

※印 講座終了後、正午からキャリアカウンセリング(個別相談)を行います。(1人30分、各日6名まで・予約制)

公開講座

講演「女性のキャリアを考える〜女36歳からでもキャリアは作れる〜」
日時 10月2日(土) 午前10時〜正午
場所 女性センター「ブーケ21」
講師 産業能率大学経営学部教授 辻 三千代氏

- 内容 キャリアアップのための転職を繰り返し、55歳で思いがけず教授となった辻三千代さんに女性のキャリアについてご講演いただきます。
 - 定員 60名(先着順)
 - 費用 無料
 - 託児 1歳以上の未就学児をお預かりします(定員あり)。
 - 申込方法 電話またはファクスに①⑤(記入例参照)、⑥託児希望の方はお子さんの氏名・ふりがな・年齢を記入して申込む(電子申請も可)。
- 講座
- 水曜イブニングトーク
10月のテーマ
銀座のママが語る「地域活動・環境活動と男女共同参画」
- 水曜日の夜にゲストのお話をうかがいながらみなさんでおしゃべり(ディスカッション)するイブニングトークを開催します。
 - 日時 10月6日(水)
午後6時30分〜8時
 - 場所 女性センター「ブーケ21」
 - ゲスト 銀座社交料飲協会理事 銀座緑化部長 白坂亜紀氏
 - 費用 無料
 - 申込方法 電話またはファクスに①⑤(記入例参照)を記入して申込む(電子申請も可)。

セミナー 男女共同参画セミナー 働く人の 「セクハラ」「パワハラ」対処法

働く人が自らの身を守り、いきいきと働くことが出来るように「セクハラ」「パワハラ」について正しく理解し、実際に被害にあつたらどの様に対応すればよいかを学びます。都労働相談情報センターと共催で実施します。

- ◆会場 区役所8階 大会議室
- ◆講師 坪由美子氏
- ◆対象 労働者、その他関心のある方
- ◆定員 80名(先着順)
- ◆費用 無料
- ◆申込方法 それぞれ前日までに電話またはファクスに①～⑤(記入例参照)⑥希望受講日を記入、または「TOKYOはたらくネット」ホームページから申込み。

日時	内容
10月18日(月) 午後6時30分～8時30分	セクハラ・パワハラとは ・セクハラ・パワハラの起こる背景 ・セクハラ・パワハラに関する法律・判例
10月19日(火)	セクハラ・パワハラから身を守るには ・セクハラ・パワハラ被害に遭遇したら ・事例に学ぶ具体的対処法

TOKYOはたらくネットホームページアドレス
<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp>

講座 事業協力スタッフ企画講座 はじめて学ぶ 私らしく生きるための アサーティブトレーニング

自分と相手のどちらも大切にしながら自分の気持ちをさわやかに表現し、より良い人間関係を築く「コミュニケーション



シヨンを学びます。

- ◆日時 10月30日(土)・11月6日(土)(全2回) 午後2時から4時まで
- ◆会場 女性センター「ブーケ21」
- ◆講師 フェミニストセラピィ、なかま、カウンセラー・相模女子大学教授 小柳茂子氏
- ◆対象 区内在住・在勤・在学者の女性
- ◆定員 20名(先着順)
- ◆費用 無料
- ◆託児 1歳以上の未就学児をお預かりします(定員あり)。
- ◆申込方法 電話またはファクスに①～⑤(記入例参照)⑥託児希望の方は、お子さんの氏名・ふりがな・年齢を記入して申込み(電子申請も可)。

講演会

事業協力スタッフ企画講演会 夫婦に定年なし ～心豊かに生きる変身(心)術～



定年を迎え、一緒にいる時間が増えた夫婦が直面する問題を紹介しながら、「これからの人生」を切り開くヒントを学びます。

- ◆日時 11月13日(土) 午後2時から4時まで
- ◆会場 女性センター「ブーケ21」
- ◆講師 定年塾代表 西田小夜子氏
- ◆定員 60名(先着順)
- ◆費用 無料
- ◆託児 1歳以上の未就学児をお預かりします(定員あり)。
- ◆申込方法 電話またはファクスに①～⑤(記入例参照)⑥託児希望の方は、お子さんの氏名・ふりがな・年齢を記入して申込み(電子申請も可)。

お知らせ 女性に対する暴力をなくす 運動 パネル展

- 毎年、11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では、運動期間を中心に、左記の会場で女性に対する暴力の防止を呼びかける啓発パネル展を行います。このパネル展では、暴力撲滅を願う「パープルリボンプロジェクト」*として「パープルリボンの木を咲かそう!」も実施します。皆さんも是非ご参加ください。
- パネル展示日程
- ◆区役所1階 11月12日(金)から25日(木)
 - ◆日本橋区民センター 11月26日(金)から12月2日(木)
 - ◆月島区民センター 12月3日(金)から9日(木)
 - ◆女性センター 11月12日(金)から12月27日(月)

*「パープルリボンプロジェクト」は、私たちの社会、コミュニティ、学校、家庭からDVや虐待など個人の間に起きている暴力をなくすための啓発運動です。1994年、アメリカ・ニューハンプシャー州のベルリンという小さな町で始まったパープルリボンプロジェクトは、今では、40カ国以上の国とアメリカ全州に広がり国際的なネットワークに発展しています。この運動は、「暴力や虐待のない世界にしたい」というシンボルとして、紫色のリボンを衣服などにつけることで、自らの意思表示とするものです。

はがき・ファクスの記入例

- ①講座名など
- ②氏名・ふりがな
- ③〒・住所*
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥その他必要事項

*在勤の方は会社名・所在地・電話番号、在学の方は学校名・所在地・電話番号も記入
●「電子申請も可」と記載されているものは区のホームページの電子申請からも申込可能

申込先

下記までお申込みください。
〒104-0043 中央区湊1-1-1
女性センター「ブーケ21」内
総務部総務課
女性施策推進係
TEL 5543-0651
FAX 5543-0652
区ホームページアドレス
<http://www.city.chuo.lg.jp>

検診

40歳になったら、 乳がん検診

■「パープルリボンの木を咲かそう!」参加方法
展示会場の「パープルリボンの木」の絵の上に、「リボン」シールを一人一枚貼ってください。多くの方のご理解とご参加をお願いいたします。

- 平成22年度 中央区乳がん検診の内容
- ◆検査項目 問診・視触診・マンモグラフィ(乳房エックス線検査)
- ◆対象者 区内に住所がある40歳以上の偶数歳(平成23年3月31日時点の年齢)の女性
- ◆受診方法 40歳～60歳の偶数歳の方と70歳の方には受診券を4月下旬に送付していますので、同封の名簿に記載された医療機関に予約して、受診してください。
- ◆費用 無料(ただし、精密検査の費用は自己負担です)
- ◆問合せ 中央区福祉保健部管理課保健係
電話 (3546) 5397

T O P I C S

育児中のママやパパのための ほっと一息「私の時間」

報告

奇数月の第3水曜日午前中に開催する、ほっと一息「私の時間」。7月は、株式会社教文館子どもの本のお店 ナルニア国店長の土屋智子さんをリーダーに、子どもの一生と本、絵本の選び方、おすすめの本などについて、ご自身の子育て経験を踏まえながら、お話しいただきました。

参加したママたちは、子どもを子育てリーダーCHUOの皆さんに預け、育児から離れたひと時を有意義に過ごしました。

参加者の皆さんの感想

- 絵本の選び方で迷っていましたが、今日のお話はとても参考になりました。
- 「人間は言葉でできている」というお話にとっても感銘を受けました。
- 子どもと一緒に本を通して共通の経験、思い出を作っていきたいと思います。



館長

雑記

防災分野への女性の参画

▶ 1995年1月17日の朝を私はきつといつまでも忘れることはないでしょう。大震災を知らせるアナウンサーの興奮した声からは、正確なことはわからないながら、大変なことが起きたということだけは十分伝わりました。焦りと何もできずに自分がここにいることの地団駄踏むような思いがまじり合って、ほとんど仕事の手が着かない一日でした。これが私の「防災分野」への新しい出発点となりました。▶その後、立て続けに起こったトルコや台湾での大地震、中越地震など、20世紀末から21世紀にかけて、まるで地球が人間社会の横暴に反発しているような大災害が続いています。▶被災地と交流すると、支援する側に女性が少ないことに気づきます。「被災支援」は、「力仕事」のイメージが強く、男性の領域だと思われがちです。しかし、被災者の半数は女性といえるのですから、支援者にも女性が半数以上いることはとても大事なことです。▶「あらゆる分野への女性の参画」が言われる中でも、防災分野への女性の参画は、いっそう望まれているのです。(松川淳子)



を手早く直す方法を実演していただきました。「自分になりたい肌をイメージして」化粧品を選んでスキンケアに励むことが大事だそうです。夢のある話です!

(事業スタッフ 橋谷信代)

ブーケ祭り実行委員会企画

「男性のメイク研究員から学ぶ キレイでハッピー! スキンケア & お化粧品講座」

報告

ブーケ祭り実行委員会企画では、株式会社アルビオンから男性研究員をお招きし、お化粧品講座を開催しました。株式会社アルビオンは、中央区銀座に所在する化粧品会社で、女性社員が約8割を占め、仕事と育児の両立にも積極的に取り組んでいます。

* * *

ブーケ祭り初日の6月25日、4Fのワークルームに100人近い方が集まりました。

講座の前半では、(株)アルビオンの研究員 遠藤順一郎さん

に、この仕事に就かれないきさつや、「女性の意見を尊重する」社風などについてお聞きしました。商品開発は、「流行を創る」意気込みで行うそうです。

「女性をきれいにすること」が「中央区を元気にすること」とユーモアを交えて話されていました。

講座の後半は、化粧品についてのお話です。パッケージに表示されている「UV」や「SPF」、「PA」などについて、日焼けや肌のメカニズムを踏まえてお話しいただきました。一見知っているようで実はあやふやな知識で化粧品を買ったり使ったりしていることが分かり、大変参考になりました。

質問コーナーでは、シミ、シワ、化粧くずれなど、たくさんの質問が挙がりました。皆さん聞きたいことは同じです。最後は化粧くずれ



「仮設のまちに生きる」 災害復興写真展開催中!

9月1日から30日まで女性センター1階で、大震災から復興拠点となる仮設のまち(仮設市街地)のすまい、暮らし、女性・子ども・高齢者などの姿を写した写真展を開催しています。みなさん、ぜひご覧ください。



表紙について 特集のテーマにあわせて、「防災」に関する写真を集めました。事業スタッフが撮影した写真ははじめ、区内の防災訓練の様子や、防災拠点の備蓄品の写真などを掲載しています。

女性センター「ブーケ21」へ 来てみませんか?



〒104-0043 東京都中央区湊一丁目1番1号
電話 03-5543-0651

ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間 午前9時～午後9時(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)

●東京メトロ日比谷線・JR京葉線

八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分

●都バス「東15甲」(深川車庫⇄東京駅八重洲口/豊洲駅・明石町経由)

鉄砲洲下車 徒歩3分